

平成22年11月30日(火)
国土交通省関東地方整備局 常総国道事務所
国土交通省関東地方整備局 北首都国道事務所

記者発表資料

しゅとけんちゅうおうれんらくじどうしゃどう けんおうどう かしょう ごか インターチェンジ
**首都圏中央連絡自動車道(圏央道)の「(仮称)五霞IC～
ちゅうおうインターチェンジ
つくば中央IC」間の開通目標を見直します。**

圏央道の(仮称)五霞IC～つくば中央IC間については、一部で用地難航が存在する等、非常に厳しい工事工程となっているため、平成24年度の開通については検討が必要とさせて頂いていたところです。

これまで事業工程の精査を行ってきたところですが、一部用地で取得の見込みがたたない状況であるため、今後は、任意による用地買収と並行して、土地収用法の適用も視野に入れざるを得ない状況です。土地収用手続きになれば、最短でも概ね2年はかかると見込まれること等から、開通目標は平成26年度以降になる見通しです。

具体的な開通時期については、今後の事業進捗や予算の状況を踏まえ検討して参ります。

なお、1日も早期に開通が実現できるよう、「用地取得推進プロジェクトチーム」のご協力をいただきながら、引き続き用地買収に精一杯努めて参ります。

※「用地取得推進プロジェクトチーム」とは

圏央道の整備促進に向け、地元市町として用地取得に係る各種課題に積極的に協力・貢献することを目的に、7市町(五霞町、境町、常総市、つくば市、坂東市、稲敷市、河内町)において設置したプロジェクトチーム(平成22年10月22日発足)

※ 事業担当区間

- (仮称)五霞IC～(仮称)猿島岩井IC : 北首都国道事務所
- (仮称)猿島岩井IC～つくば中央IC : 常総国道事務所

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 茨城県政記者クラブ

お問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局 常総国道事務所	電話 029-826-2040(代)
副所長 金子 剛	計画課長 石塚 克己
国土交通省関東地方整備局 北首都国道事務所	電話 048-942-4041(代)
副所長 秋元 孝夫	計画課長 田中 満

【路線の概要】

国道468号首都圏中央連絡自動車道（通称：圏央道）は、都心から半径約40～60kmの位置に計画されている延長約300kmの自動車専用道路であり、都心から延びる放射状の道路を繋ぐことにより、都心への交通を分散し、渋滞の緩和が図られます。

また、県南・県西地域の都市を連絡し、茨城県内の東西方向の幹線ネットワーク機能の強化、沿線地域の経済活性化が見込まれるとともに、災害時などにおいて消防・救急活動などの速やかな対応を図るための緊急輸送路としての役割も担います。

なお、当該区間における事業の進捗状況（用地取得率は10月末時点、面積ベース）は、以下の通りです。

●（仮称）五霞IC～つくば中央IC（延長約35.3km）

用地取得率は約89%となっており、用地取得及び工事を進めているところです。

【位置図（平面図）】

